



あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。(マタイ5章16節)

Your light must shine before people. (Matthew 5:16a)



「あなたは信じてますか」

「心を騒がせるな。神を信じなさい。
そして、わたしをも信じなさい。」



—ヨハネによる福音書14章1節—

九州学院チャプレン 日笠山 吉之



新学期は出会いの時期です。今年もS3とJ1の聖書の授業を担当することになった私は、毎回出席簿を手により一人一人の名前を呼び、顔を見るようにしています。当たり前ですが、誰一人として同じ顔はなく、それぞれが個性をもったかけがえのない存在です。

J1の授業は、とても賑やかです。聖書の授業が珍しいのか（今のところ）みんなニコニコしながら教室に迎え入れてくれます。授業中はいろいろな質問が飛んできます。「先生はなぜ九州学院のチャプレンになったんですか」「先生は神様を好きですか」「奥さんと神様ならどちらを愛していますか」などなど。どれも直球の質問ばかり。中でも「チャプレンは神様を信じてますか」という質問にはドキッとしました。教会の牧師を務めていた時には、まず尋ねられることがなかったからです。「神様を信じているからチャプレンになって、みんなと一緒に礼拝をしたり、こうして聖書の授業をしているんだよ」と答えると、素直に納得してくれました。

主イエスは弟子たちに言われました。「心を騒がせるな。神を信じなさい。そして、わたしをも信じなさい。」たとえ心騒ぐようなことがあったとしても、神を信じ、キリストの福音を信じていることだけはブレずに伝えていきたいと思います。



意義深さがあります。

中高の対面式とほぼ同時時間帯に、幼保連携型認定こども園九州学院みどり幼稚園入園式が九州学院ブラウン・メモリアル・チャペルにて挙行されました。

セクター」ウェブサイ
ト内に掲載されていま
す『歴史余話』の第六
話「甦ったブラウン
チャペル」および第三
十話「メレル・ヴォー
リズと九州学院」にも
詳細な記事が掲載され

2025 中高入学式・対面式

高校335人・中学校100人が入学

～認定こども園は献堂100周年のチャペルで入園式～

4月9日(水)、九州学院総合体育館において高等学校および中学校の入学式が挙行され、高校1年生335人、中学校1年生100人の入学が室永芳久校長により正式に許可されて中高の新たななかまとして加わりました。

学校長式辞、来賓紹介に続き、在校生を代表して桑原宗大高校生徒会長が新入生に歓迎の言葉を贈りました。

その後、新入生代表による誓いの言葉を、中学生は山崎智也さん

が、高校生は木村果楠さんがそれぞれ室永校長の前で述べました。閉式後は各教室で学級開きが行われました。翌10日(木)2時限に中高合同で対面式が九州学院総合体育館で行われました。近年は講演や歴史、エピソードな

ていますので、ぜひご覧いただきますようお願いいたします。なお、九学通信バックナンバー（九学同窓会を含む）ならびに歴史資料・情報センターウェブサイトにへは、九州学院ウェブサイトにトップページにリンクを貼っていますのでご利用ください。

を目標として、皆様へ寄付金をお願いをさせていただきます。現在、学院が開設する指定寄付には7種類あり、その1つに「フ라운・チャペル基金」がございます。募金の趣意にご賛同をいただけますならば、九州学院のウェブサイトにトップページのリンクから

現在も中学校卒業式や学院の平和礼拝、育友会（PTA）諸行事などに使用されています。チャペルですが、老朽化が進んだ箇所も散見されます。また、冷暖房設備がないことなどから年間を通しての使用回数が創建時より少ない状況にあります。

学院としましては、現存する最古の学院建造物であるとともに、学院のシンボルとも言えるこのチャペルを補修して保存するだけではなく、さらなる活用

入れます。「寄付のお願い」ページ内にあります寄付申込フォームにてブラウン・チャペル基金をご選択のうえ必要事項をご記入いただき、オンライン決済（クレジットカード）で寄付をお願い申し上げます。また、学院で開設していますその他6種類のご寄付のお願いにつきましても、その趣意書をぜひご覧いただきまして、ご協力をたまわれますようお願い申し上げます。

中島康文第11代院長が就任

2025年3月31日
付で九州学院第10代院長（在任：2022年4月～2025年3月）を務めた小副川幸孝氏が任期満了により退任しました。諸般の事情により2025年度当初は院長職空席となっていました。この度中島康文氏が九州学院第11代院長に就任しました。

さていただく予定で
す。また、小副川前院長
がチャブレン兼任終了
となった2023年4月
から原則として1面
下段に掲載してまいり
ました院長巻頭言『院
長室便り』につきまし
ても同様の事由により
今号は掲載を見送らせ
ていただくとともに、
理事である室永芳久中
高校長が巻頭言を担当

今号(第142号)の『九学通信』製作工程の都合上、院長就任式の模様ならびに院長略歴紹介は次号紙面に掲載させていただきます。願います。



平素より本院の教育活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

2025年度入
学試験においても多くの受験生を与え
られました。これも日頃からの皆様のご
支援の賜物と、感謝申し上げます。また、
この入学試験の結果、中学校100名
高等学校335名の新入生を迎えるこ
とができました。4月9日の入学式、10
日の対面式を終え、九州学院に新しい仲
間が増えたこと、心より嬉しく思っ
ております。

本稿執筆現在、学校は一学期半ば、高校総体・総文祭、中体連に向けて各部活動が活気づいているところです。学習への取り組みも各学年とも本格化しつつあり、生徒の皆さんは、文武両道を実践すべく、各所で頑張っている様子が校内では多く見られます。充実した日々を過ごし、悔いのない取り組みをしてほしいと願っています。

昨今の学校を取り巻く環境は大きく揺れ動いています。中学校における部活・運動の地域移行、教員の働き方改革、学校における教育課程の見直し、大学入試制度の変化、公立高校の入試制度の変更、就学支援金制度の変更など、大きな変化の波がやってくる中で、取り組むべき課題は多岐にわたっております。こうした課題への備えと対応をしながら、九州学院としての独自性を発揮して取り組んでいく所存です。

これから学院は、新たな二年間の歩みを始めます。中高ともに、新一年生は一日も早く「九学」の生徒となり、学校生活を謳歌してもらいたいと思います。また二年生は、中核を成す学年として学院を担う自覚を持ち、同時に次の最終学年に向けて個々に頑張つてほしいと考えています。更に三年生は、いよいよ次のステップに向けての学年です。迷うことも多いかもしれませんが、よく考えて判断・行動することを心がけ、悔いのない一年間となることを願っています。

2025年度の進路状況について

進路指導部長 松本 郁

今年度の四年制大学の合格者数は、国公立大43名(うち現役40名：筑波大2〔体育〕、島根大〔生物資源〕、山口県立大〔国際文化〕、大分3〔教育、福祉、理工〕、鹿屋体育大〔体育〕、鹿児島4〔理、工、教育、法文〕、福岡教育大〔教育〕、九州工業大〔工〕、北九州市立大5〔法、文、経済、国際環境工〕、熊本11〔文1、工4、薬1、理2、医看1、検査技術2〕、熊本県立9〔総管3、文2、環境共生4〕、長崎大〔環境科学〕、過年度卒3名：埼玉大〔工〕、滋賀県立大〔環境〕、大分大〔教育〕 私立大合格者数のべ315名(うち現役一般入試90名：青山学院1、法政大1、関西大1、立命館大1、東洋1など)総合型選抜入試13名、公募推薦入試32名、スポーツ推薦入試45名、指定校推薦入試合計135名(うち同志社9、福岡20、熊本学園13)でした。また、短期大学1名。就職内定者5名(公務員3、一般2)、となっています。今春卒業生341名の進路決定状況は、四年制大学85.3%、短期大学0.3%、専修・各種学校7.6%、就職1.5%、海外進学0.6%、予備校等(受験準備)3.8%でした。地域別で見ると、熊本県内への進学者は32.4% (昨年32.6%)、県外進学者のうち関東には24.6% (昨年27.1%)、関西には12.8% (昨年12.3%)、福岡には20.2% (昨年21.0%)が進学しました。

生徒は、多様化する入試制度に対応するため、日々の学習だけでなく、資格取得や校外活動に取り組んできました。また、新課程での共通テスト実施となり、科目構成の見直しが行われた中での受験は、生徒にとって不安との闘いだったと思いますが、目標に向け全力でがんばりました。指定校推薦については、今年度は195 (昨年は188)もの4年制大学から推薦依頼が寄せられ、同志社大から23名、福岡大から25名、熊本学園大との高大接続特別入試制度により29名の枠をいただけました。進路指導部としては、このような連携関係を大切にするとともに、進路先で充実した学業生活を送れるように、日頃の基礎学力の向上と進路希望に合わせたサポートを強めていきたいと考えています。

江村明音選手 UJフレスシュボクシング大会優勝！
中学校剣道部 神埼市長旗全国選抜中学生大会優勝！
☆岩崎大誠選手 全国高校選抜自転車競技TT準優勝！
☆高校剣道部 魁星旗争奪全国高校勝抜大会準優勝！

2025年3月に開催された全国大会には多数の競技に九州学院の生徒が活躍して活躍・健闘しました。

3月29日(土)、大阪府泉大津市立総合体育館において「第4回全日本アンダージュニアフレスシュボクシング大会」が女子51kg級決勝が行われ、江村明音選手(中3・吉田ボクシングジム)が優勝しました。

また、同日には佐賀県の神埼中央公園体育館において「文部科学大臣杯神埼市長旗第36回全国選抜中学生剣道大会」決勝トーナメントが開催され、男子の部で中学校剣道部が見事優勝を飾りました。

剣道部は3月26日(水)28日(金)に愛知県春日井市総合体育館において3対1で勝利して、強豪居並ぶ出場80チームの頂点に立ちました。

3月26日(水)、福岡県の北九州メディアドームで開催された「令和6年度全国高等学校選抜自転車競技大会」男子団体でベスト8に入りました。

その他の競技では、原かんの選手(高2)が「天皇杯第36回全国車いす駅伝競走大会」で区間6位、高校ハンドボール部は「第48回全国高等学校ハンドボール選抜大会」3回戦で昨夏インターハイ準優勝の香川中央高校に延長戦で敗れるも大会屈指の熱戦で会場を沸かせ健闘をみせました。

また、同日の女子インディヴィデュアルパシフィック決勝では安達心晴選手(高3)が4位入賞しています。

3月29日(土)31日(月)に秋田県立武道館において「第52回魁星旗争奪全国高校勝抜剣道大会」が開催され、男子の部で高校剣道部が準優勝しました。

また、同日の女子インディヴィデュアルパシフィック決勝では安達心晴選手(高3)が4位入賞しています。

また、同日には佐賀県の神埼中央公園体育館において「文部科学大臣杯神埼市長旗第36回全国選抜中学生剣道大会」決勝トーナメントが開催され、男子の部で中学校剣道部が見事優勝を飾りました。

また、同日には佐賀県の神埼中央公園体育館において「文部科学大臣杯神埼市長旗第36回全国選抜中学生剣道大会」決勝トーナメントが開催され、男子の部で中学校剣道部が見事優勝を飾りました。

また、同日には佐賀県の神埼中央公園体育館において「文部科学大臣杯神埼市長旗第36回全国選抜中学生剣道大会」決勝トーナメントが開催され、男子の部で中学校剣道部が見事優勝を飾りました。

また、同日には佐賀県の神埼中央公園体育館において「文部科学大臣杯神埼市長旗第36回全国選抜中学生剣道大会」決勝トーナメントが開催され、男子の部で中学校剣道部が見事優勝を飾りました。

また、同日には佐賀県の神埼中央公園体育館において「文部科学大臣杯神埼市長旗第36回全国選抜中学生剣道大会」決勝トーナメントが開催され、男子の部で中学校剣道部が見事優勝を飾りました。

また、同日には佐賀県の神埼中央公園体育館において「文部科学大臣杯神埼市長旗第36回全国選抜中学生剣道大会」決勝トーナメントが開催され、男子の部で中学校剣道部が見事優勝を飾りました。

また、同日には佐賀県の神埼中央公園体育館において「文部科学大臣杯神埼市長旗第36回全国選抜中学生剣道大会」決勝トーナメントが開催され、男子の部で中学校剣道部が見事優勝を飾りました。

また、同日には佐賀県の神埼中央公園体育館において「文部科学大臣杯神埼市長旗第36回全国選抜中学生剣道大会」決勝トーナメントが開催され、男子の部で中学校剣道部が見事優勝を飾りました。

また、同日には佐賀県の神埼中央公園体育館において「文部科学大臣杯神埼市長旗第36回全国選抜中学生剣道大会」決勝トーナメントが開催され、男子の部で中学校剣道部が見事優勝を飾りました。

また、同日には佐賀県の神埼中央公園体育館において「文部科学大臣杯神埼市長旗第36回全国選抜中学生剣道大会」決勝トーナメントが開催され、男子の部で中学校剣道部が見事優勝を飾りました。

また、同日には佐賀県の神埼中央公園体育館において「文部科学大臣杯神埼市長旗第36回全国選抜中学生剣道大会」決勝トーナメントが開催され、男子の部で中学校剣道部が見事優勝を飾りました。

また、同日には佐賀県の神埼中央公園体育館において「文部科学大臣杯神埼市長旗第36回全国選抜中学生剣道大会」決勝トーナメントが開催され、男子の部で中学校剣道部が見事優勝を飾りました。

また、同日には佐賀県の神埼中央公園体育館において「文部科学大臣杯神埼市長旗第36回全国選抜中学生剣道大会」決勝トーナメントが開催され、男子の部で中学校剣道部が見事優勝を飾りました。

また、同日には佐賀県の神埼中央公園体育館において「文部科学大臣杯神埼市長旗第36回全国選抜中学生剣道大会」決勝トーナメントが開催され、男子の部で中学校剣道部が見事優勝を飾りました。

また、同日には佐賀県の神埼中央公園体育館において「文部科学大臣杯神埼市長旗第36回全国選抜中学生剣道大会」決勝トーナメントが開催され、男子の部で中学校剣道部が見事優勝を飾りました。

また、同日には佐賀県の神埼中央公園体育館において「文部科学大臣杯神埼市長旗第36回全国選抜中学生剣道大会」決勝トーナメントが開催され、男子の部で中学校剣道部が見事優勝を飾りました。

また、同日には佐賀県の神埼中央公園体育館において「文部科学大臣杯神埼市長旗第36回全国選抜中学生剣道大会」決勝トーナメントが開催され、男子の部で中学校剣道部が見事優勝を飾りました。

また、同日には佐賀県の神埼中央公園体育館において「文部科学大臣杯神埼市長旗第36回全国選抜中学生剣道大会」決勝トーナメントが開催され、男子の部で中学校剣道部が見事優勝を飾りました。

教職員異動(退任・新任)

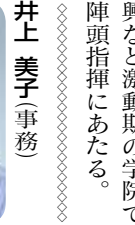
【敬称略】



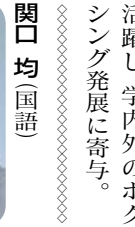
小川 幸孝 院長



松岡 一磨 (地歴・公民)



井上 美子 (事務)



関口 均 (国語)



高校第77回卒業証書授与式を挙行

3月1日(土)、九州学院総合体育館で九州学院高等学校第77回卒業証書授与式を挙行し、3年生339人が卒業しました。

2024(令和6)年度 事業活動収支計算書

(単位:百万円)

事業活動収入の部	事業活動支出の部	
	学生生徒納付金	人件費
778	13	955
手数料	4	437
寄付金	547	153
経常費等補助金	0	0
付随事業収入	5	
雑収入	1,347	1,392
教育活動収入計		
教育活動収支差額	▲ 45	
事業活動収入の部	事業活動支出の部	
	受取利息・配当金	借入金利息等
0	0	3
その他の教育活動外収入	0	0
教育活動外収入計	0	3
教育活動外収支差額	▲ 3	
経常収支差額	▲ 49	
事業活動収入の部	事業活動支出の部	
	資産売却差額	資産処分差額
0	12	0
その他の特別収入	12	0
特別収入計	12	0
特別収支差額	12	
基本金組入前当年度収支差額	▲ 37	
基本金組入額合計	▲ 147	
当年度収支差額	▲ 184	
前年度繰越収支差額	▲ 2,336	
基本金取崩額	1	
翌年度繰越収支差額	▲ 2,519	

(参考)

事業活動収入計	1,358
事業活動支出計	1,395



新年度の学校生活が始まる中、各学年で親睦会や研修会を実施し、南関町のホテルに場所を移して行いました。

全体研修では学校生活にかかる規範などについて担当教師から講話や指導がありました。

また、中高他学年は18日(金)に各学年で親睦会を開催しました(中学校学年親睦会の様子は3頁掲載の「九中コーナ」をご覧ください)。

グループごとにガイドさんのお話に傾聴して研鑽を積み、同級生との親睦を深めました。

育友会定期総会を開催

（全議案が承認される）

5月23日(金)午前、九州学院育友会定期総会が九州学院プラウン・メモリアル・チャペルで開催されました。今回も対面(会場)での参加・委任・議決権行使から選択可としました。

吉本副会長の司会で総会は進行し、日笠山吉之チャプレンによる聖書朗読と祈禱、中山竜一会長と室永芳久校長の挨拶に続いて議事に入りしました。規約に則り中山会長が議長を務め、出席、委任、議決権行使の合計数が定足数に達していることを確認後、以下の各議案が審議されました。

さらに活発になる九州学院の国際交流

（今年度は初めて台湾(長栄大学など)への訪問団を派遣予定）

2023年度から本格的に中高生徒の国際交流(海外訪問団派遣)が再開されるようになりました。2023年度と2024年度には姉妹校であるオーストラリアのイマニュエルカレッジと、特別連携を締結しているアメリカ合衆国ネブラスカ州立大学カーニー校へそれぞれ生徒が訪問して学びと交流を深める多くの場に臨みました。また、2024年度には交流校である大韓民国の文泰学園にも訪問団派遣を行いました。九州学院への訪問団受入と交流では、2023年度から毎年度日本福音ルーテル教会

がスタートしました。引き続き皆さまのご協力をたまわりますようお願い申し上げます。

●新役員(執行部)●

会長 原之蘭 浩



副会長 吉本 洋
副会長 堤 建太
副会長 佐藤 準一
副会長 廣島 大樹
書記 中村奈央美
書記 濱砂 華子
会計 河井 直子
会計 城下 一秀
渉外 杉本 美紀
渉外 森園 春香
渉外 松永 朋美
監事 林田 啓志
監事 芹口 克喜

九州学院みどり幼稚園

英語あそびと運動あそび

認定こども園九州学院
みどり幼稚園園長 新垣 力

みどり幼稚園では、「英語あそび」は30年九州学院の先生方に来ていただき、毎週火曜日に「英語あそび」、水曜日に「運動あそび」を行っております。中学、高校の先生方による英語と運動の指導を受けられるというのみどり幼稚園ならではのことで、はじめは「音楽」と「運動」だったそうです。担当されていた先生の退職を機に音楽が「英語」に代わったとのこと。

歴史は古く、「運動あそび」は、現在わかつているだけでも40年以上、

跳びなども取り入れています。筋力がなくても、体が柔らかく体重の軽い幼児の頃の方が身につきやすい動きも多くあります。例えば倒立や鉄棒など幼少期に身につけた感覚はずっと大人になっても体が憶えています。オリンピック選手やプロで活躍している選手の特集で、「振り返ってみると、幼い頃にやっていたことが競技力を伸ばす基礎になっていた。」という話はよく聞くことです。幼小中高の成長過程で様々な運動経験をすることでバランスのよい身体づくりや動きづくりができるとうわ

「運動」は器械運動やボール遊びを中心に縄

「体育」は全く別物なので、指導にきていた

最後にクラスごとに全員で保護者と担任へ感謝の言葉を贈り、各クラス担任が選曲した歌と大きな拍手が鳴り響くなか、一人ずつ退場していきま

また、記念品として頂戴した日よけは中学校中庭で使用させていただきます。誠にありがとうございます。



4月9日(水)に1年生100名を迎え、中学校は310名で新年度をスタートしました。4月18日(金)には1年生に向けた部活動紹介と各学年の親睦会を実施しました。1年生は「友達100人でき親睦会」はどの学年も



九中コーナー

第78回卒業証書授与式を挙

（107名が学び舎を巣立つ）

業証書授与式」が挙行され、107人の卒業生がそれぞれ新たな旅路へと出発しました。当日は中学1、2年生の在校生と保護者、来賓、教職員など約600人が厳粛な式典に臨みまし

式後、卒業生はクラスごとに最後の学活の時間をもちました。クラスではそれぞれが笑顔と感動の入り混じった涙を見せ、温かな時間を過ごしました。この日の校内には慶びと別れを惜しむさびしさを分かち合う姿が多くみられました。



新入生100名を迎えて新学期がスタート

学年親睦会も大盛り上がり

4月9日(水)に1年生100名を迎え、中学校は310名で新年度をスタートしました。4月18日(金)には1年生に向けた部活動紹介と各学年の親睦会を実施しました。1年生は「友達100人でき親睦会」はどの学年も



